

# まつかわ あと 松川プール跡

「丘の上」の市民プール

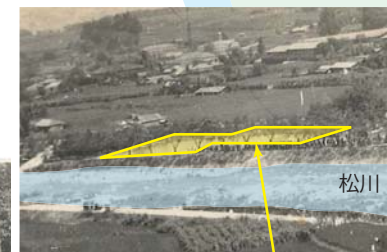
1925(大正14)年、鼎村の本田<sup>ほんだいたろう</sup>亥太郎が私有地を提供し、松川の水を引き入れた「松川プール」を建設した。松川プールは周辺の学童・生徒や多くの住民に利用され、水泳大会が開かれた他、プールサイドに植えられた桜が花見の名所にもなり、飯田市郊外の身近な行楽地であった。現在は池となっている。



現在は結婚式場内の池として残っており、桜並木の向こうには散策できる土手と、松川が流れる



1938(昭和13)年 プール見張り終了後の撮影写真



松川に並んで造られたプール



## information

### □ アクセス

飯田線切石駅から  
600m  
徒歩→8分

### □ 所在地

飯田市 飯田



水不足

飯田市中心部は台地上に立地し、生活用水の確保が大きな課題であった。そのため、プールなどに使える水はなく、周辺の河川やため池で水泳をしていた。

現在は

水質の問題や設備が充実したプールの要望が高まり、1960(昭和35)年、飯田市民プール建設に伴い、松川プールはしだいにその役割を終えた。現在は池になり、敷地はプライダル施設、周辺は桜の名所となっている。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)